

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	488 筑波山麓整備事業					
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光施設係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	筑波山周辺観光整備基本構想、第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	山麓地域の活性を図るとともに、宝篋山周辺観光施設の整備を進める。
概要 (取組内容)	筑波山及び筑波山麓地域の魅力ある観光資源をいかし、訪れる人々に充実した時間を過ごしてもらうための観光施設を整備し、筑波山地域観光の魅力向上と更なる誘客拡大を図る。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	6,666	0	1,298	1,298	5,978	
	決算額	(千円)	6,316	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,316	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,703	1,727	1,807	1,727	1,727	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ等での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
実績	425.0	272.0	243.3	247.7	393.7	384.9
指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく観光入込客をカウントした値 1月から12月までの年集計					

2	指標名	宝篋山観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	9.5	12.0	12.1	9.5	9.9	9.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、宝篋山観光入込客をカウントした値（年集計）					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	ホームページや掲示物等により、登山客が正規の登山道を利用するよう啓発を行った。また、5月及び秋から年始までの行楽シーズンにおいて、既存の市有地を登山者用臨時駐車場として活用し、誘導員の配置や誘導看板を設置することで、来場者の利便性や安全性の向上を図った。	
成果	登山客の安全な登山道利用やマナー向上につながった。また、繁忙期に臨時駐車場を設けたことにより、路上駐車や抑制や利用者の安全を確保することができた。	
課題	業務	登山者による登山道以外への進入及び山麓駐車場内での利用時間外での使用に対して、継続的に注意喚起を行っていく必要がある。
	組織、予算等	—
改善目標	登山道や駐車場の利用について、休憩所での掲示物や呼びかけ等を行うほか、山麓駐車場に注意喚起看板を設置することで、利用者に対しての啓発を継続的に実施する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	489 観光施設維持管理事業					
予算科目	01-070103-12 観光施設維持管理に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光施設係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	市内観光施設の快適性と利便性の向上を図る。
概要 (取組内容)	快適で魅力ある観光地として、観光施設を適正に管理する。 筑波山頂施設維持管理、市営駐車場維持管理 観光案内施設維持管理、梅林維持管理 宝篋山休憩施設維持管理、荃崎地区観光施設維持管理

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	109,516	116,591	128,169	106,691	150,490	
	決算額	(千円)	108,382	104,266	119,519	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	66,317	104,266	77,027	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	42,065	0	42,492	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,857	9,672	10,079	9,672	11,398	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.25	1.25	1.25	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	428.00	428.00	421.00	428.00	428.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ等での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
実績	425.0	272.0	243.3	247.7	393.7	384.9
指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく観光入込客をカウントした値 1月から12月までの年集計					

2	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（普通車）（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	86,600.0	88,660.0	88,660.0	88,660.0	88,660.0	88,660.0
	実績	76,166.0	68,491.0	70,627.0	77,441.0	74,359.0	79,644.0
	指標の概要						
3	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（大型車）（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0
	実績	938.0	622.0	847.0	893.0	790.0	741.0
	指標の概要						
4	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	筑波山梅林木道手摺設置工事をはじめ、筑波山第4駐車場連絡路階段修繕工事、筑波山観光用水第3減圧槽土留め修繕工事、宝篋山バイオトイレ設備修繕工事を実施した。また、各観光施設で不具合が生じた箇所について、適宜修繕等を実施した。
成果	修繕計画を現況に合わせ、随時見直しを行い、各施設の修繕を適宜実施することで、利用者の利便性向上を図った。
課題	<p>業務</p> <p>既存施設における老朽化や破損状況に応じた改修工事や修繕を、適宜実施する必要がある。</p> <p>組織、予算等</p> <p>特殊な施設の修繕や土木工事などにおいても担当課で迅速に対応が必要となる案件が多いため、専門的な知識を持ち、経験のある職員の配置が必要である。</p>
改善目標	各施設の不具合箇所等の修繕や改修を適宜行い、適切な施設保全を行う。また、各施設の巡回等により、継続的な維持管理を行うことで、利用者の満足度向上を図る。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	494 くさざき夢まつり事業					
予算科目	01-070103-13 観光行事に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光イベント推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民
目的	茎崎地域の活性化及び世代間交流の促進を図る。
概要 (取組内容)	地域のふれあいの場としてS49年から商工産業祭、H12年度からひまわりまつりとして開催され、地域のお祭りとして定着している。 現在は、地域活性化を促進するため、茎崎地区の区会長や、PTAの関係団体等により実行委員会が組織されており、より地域に根ざした市民参加型のイベントとなっていることから、当該事業に対し、開催のための補助金を交付するとともに、助言等を行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	600	600	639	639	639	
	決算額	(千円)	0	600	631	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	600	631	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,504	873	820	764	764	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	58.00	75.00	39.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

指標名	くさざき夢まつりへの来場者数 (人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0
実績	8,000.0	0.0	0.0	0.0	7,000.0	10,000.0
指標の概要	主催者発表（令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルスの影響で中止のため実績なし）					

2	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	実行委員会事務局の役割が大きくなるよう、適切な指導・助言を行った。	
成果	茎崎運動公園を会場として11月10日に開催し、1万人が来場して賑わいを創出することができた。また、地域の団体に協力を仰いでイベントや出店を行うことで、地域コミュニティの拡大に繋げることができた。	
課題	業務	さらに実行委員会事務局の役割が大きくなるよう、役割分担等について協議が必要である。
	組織、予算等	
改善目標	今年度より実行委員会事務局が関わる部分を増やす。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	495 つくば観光コンベンション協会補助事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	観光客
目的	行政を超えた領域の観光事業の充実を図る。
概要 (取組内容)	つくば観光コンベンション協会に対する指導、助言を行い適正な運営を図る。 誘客のための観光キャンペーンやイベント実施の際に連携を図る。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	45,621	45,621	48,294	55,824	55,824	
	決算額	(千円)	45,621	45,621	48,294	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	45,621	45,621	48,294	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,362	1,382	1,445	1,382	1,382	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	「筑波山梅まつり」にてつくば市に移住して概ね3年以内の市民を対象にモニターツアーを実施し、観光資源のPRをするとともに、アンケート調査を実施した。

指標の推移

1	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
	実績	425.0	272.0	243.3	274.7	393.7	384.9
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウント ※1月から12月までの年集計					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	アニメコンテンツ観光PR拠点化事業について、つくば観光コンベンション協会会員を巻き込んだイベント内容にすることで、協会及び協会会員の収益化につながる仕掛けづくりをした。引き続き、市も企画、PRなどで協力し支援している。	
成果	つくば観光コンベンション協会に財政支援し、経営の安定化と観光誘客の推進を図ることができた。また、前年度に引き続き、補助金の会計処理審査を行う機会を四半期に1回程度設け、適正な補助金活用を指導するとともに、定期的なコミュニケーションをとることで円滑な業務連携を図ることができた。	
課題	業務	近隣、国内、インバウンド等、ターゲットを明確にした事業展開の強化が必要である。また、アニメコンテンツ観光PR拠点化事業やご当地ラーメン開発事業のように収益化につながる事業の推進が引き続き必要である。
	組織、予算等	つくば観光コンベンション協会に補助金を交付するうえで、当該協会職員に事業のスクラップ&ビルドの考え方を指導し、マンパワーや経費の適正化を図る必要がある。
改善目標	つくば観光コンベンション協会のアニメコンテンツ観光PR拠点化事業や市の市内周遊観光モデルコース事業などで市と協会が相互連携することで、筑波山だけでなく市全域への観光誘客を強化していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	496 観光振興事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約	127-1			係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	観光客
目的	つくば市の観光産業の振興を促進するとともに、地域経済の活性化を図る。
概要 (取組内容)	つくば観光コンベンション協会、県の各種協議会、市内の協議会等と連携し、近隣自治体と広域連携した誘客事業の推進、インバウンド向け事業の推進、市内でのイベント開催支援などを行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	6,648	6,695	20,367	17,924	17,924	
	決算額	(千円)	5,836	5,760	19,567	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,836	5,760	19,567	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,209	4,622	5,307	7,186	7,308	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.70	0.90	0.90
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	197.00	100.00	400.00	450.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	HPやSNS等での観光情報発信
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
実績	425.0	272.0	243.3	274.7	393.7	384.9
指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウント ※1月から12月までの年集計					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	各事業のターゲットを分析し、秋祭り、アニメイベント等の開催にあたり、ターゲットに合わせたメディア（広報紙等の紙媒体やSNS広告等の電子媒体等）で広報を行うことができた。	
成果	秋祭り、アニメイベント等の開催にあたり、連携して広報を行い、イベントへの誘客支援を行うことができた。また、茨城アフターデスティネーションキャンペーンの枠組みで、市内事業者の特別事業への補助申請支援や、広報協力を行い、国内外への市内観光PRを実施できた。	
課題	業務	各連携機関の動向を注視し、協議会から市町村への補助事業等を有効に活用しながら事業を推進していく必要がある。また、市から協議会へ補助する事業については、補助内容について精査し、実情に即した支援を行っていく必要がある。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	各連携機関とコミュニケーションを密にし、市から補助を行っている事業については、補助団体の自立的事業運営を目指して事業支援を行う。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	497 つくば市学術会議支援事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（間接）	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	つくば市内における学術会議の開催促進を図る。
概要 (取組内容)	学術会議主催者に対する支援策の一環として補助金交付及び開催準備金の貸付を実施する。（補助金交付に伴う窓口業務及び広報活動はつくば観光コンベンション協会が実施する。） また、茨城県MICE誘致推進協議会に参画し、県単位でのMICE誘致策を検討する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	15,602	23,253	16,481	21,000	21,000	
	決算額	(千円)	7,296	16,500	11,985	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7,296	16,500	11,985	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,362	1,382	1,445	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市民公開講座等への会議参加
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	国際会議開催数 (回)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	50.0	53.0	56.0	59.0	63.0	65.0
実績	63.0	1.0	0.0	17.0	47.0	35.0
指標の概要	市内で開催された学術会議（MICE）の回数※目標値は、H27年度「まち・ひと・しごと創生事業」評価指数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和6年度募集分から、市民公開講座や市内事業者と連携したプログラムへの補助を追加した新要項の運用を開始し、より市民や市内事業者が恩恵を受けやすい補助金に改定した。また、参画している県協議会が運営する「茨城MICEファンクラブ」において開催助成金を新設してもらうことができた。	
成果	新要項の運用を開始し、市民公開講座や市内事業者との連携事業を補助する「プログラム補助」を開始したことで、より市民等に恩恵の多い会議の誘致強化を図れた。また、県MICE誘致推進協議会に参画する県、水戸市、つくば市で協働して商談会出店や営業活動を行ったり、協議会で運営するMICEファンクラブのポイント特典の1つとして開催助成を新設し、県単位での誘致強化を図れた。	
課題	業務	改定した要項が申請団体にとって使い勝手が良いか、市内経済にとって恩恵のある内容になっているか、随時検証を行う必要がある。
	組織、予算等	引き続き、県MICE誘致推進協議会に積極的に参画し、県単位での連携を深めていく必要がある。
改善目標	会議誘致することで、市民及び市内事業者への恩恵が拡大し、市内経済波及効果が大きくなっていることをできる限り見える化できる補助を行っていく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	498 筑波山交通渋滞対策事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	春と秋の行楽シーズンを中心に多くの観光客が筑波山を訪れることによる渋滞等の緩和を図るもの。
概要 (取組内容)	ゴールデンウィーク及び秋の行楽シーズンに関係機関と連携し筑波山の交通渋滞対策として、渋滞情報や駐車場の満空情報等の情報発信、混雑箇所への警備員の配置、看板設置によるパープルライン方面への迂回誘導をする。また、登山道の混雑緩和のため、女体山山頂の一方通行化による動線確保や登山者への案内等を実施する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	3,194	4,731	4,140	4,183	4,183	
	決算額	(千円)	2,433	1,973	1,243	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,433	1,823	1,243	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	150	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,110	3,309	2,342	2,242	2,242	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.40	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	288.00	225.00	70.00	70.00	70.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	H P、SNS での渋滞情報の発信。市内幹線道路へのう回路看板等の掲示。
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	渋滞対策実施日数 (日)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
実績	20.0	12.0	16.0	17.0	17.0	17.0	
指標の概要	春と秋に実施した渋滞対策の対応日数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	ライブカメラでの情報取得をPRする看板の設置、県への県道沿いの電光掲示板の活用や道路沿いの植栽剪定要望など、令和5年度アンケートで出た意見の一部を具現化する対策を行った。	
成果	渋滞のボトルネックとなる市営筑波山第1駐車場入り口への警備員増員配備、SNSやホームページを活用した事前の情報発信、渋滞対策期間中のリアルタイム情報発信等を行って、場所・時間・ルート of 分散を促すことで、ゴールデンウィーク、秋の行楽シーズンとともに、顕著に混雑した日を1日ずつに抑えることができた。	
課題	業務	交通渋滞の情報が来訪者に届くように、県道沿いの電光掲示板の活用等を引き続き検討する。 女体山山頂など、登山道での渋滞が発生している箇所がある。
	組織、予算等	県、交通事業者、観光協会などの関係者と協働して渋滞対策に関する方針を検討し、対策を実施していく必要がある。
改善目標	引き続き、事前及び渋滞対策期間中の情報発信を効果的に行い、来訪者が混雑を避けるか否か選択できる分散型観光の環境を整備していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	499 おもてなし観光推進事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	全て委託	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	つくば市への観光客の満足度向上を図る。
概要 (取組内容)	つくば駅前に観光案内所を設置し、来訪者への観光案内を行う。また、市内の観光ガイドを行うボランティアガイドを育成し、現地ガイドスタッフによるおもてなしを強化したり、地元住民等の協力を得ながら観光協力の家を設置したりすることで、来訪者の観光利便性を向上させる。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	8,490	8,788	9,776	10,653	10,653	
	決算額	(千円)	8,519	8,721	9,698	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	8,519	8,721	9,698	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	689	691	748	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	3.00	0.00	10.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ボランティアガイドの担い手募集やガイドイベントの告知を広報紙にて広報。
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	筑波山観光入込客数 (万人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	200.0	200.0	200.0	220.0	240.0	260.0
実績	250.0	228.0	186.0	184.1	207.2	217.2
指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、筑波山観光入込客をカウントした値 ※1月から12月までの年集計					

2	指標名	ボランティアガイド登録人数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	50.0	52.0	43.0	42.0	46.0	52.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	ボランティアガイド育成業務の受託者を通して、ガイドへのアンケートを実施した。	
成果	ボランティアガイド育成については、筑波山・科学・ジオパーク・サイクリング・グルメ等幅広いテーマをガイドする育成事業を実施し、多様な来訪者のニーズに応える基盤を作れた。つくば駅前観光案内所では、英語対応できるスタッフを常駐させ、回復しているインバウンドへのニーズにも応えながら、市内だけでなく、空港案内や都内観光案内等も含めた広域案内を実施できた。	
課題	業務	ガイドアンケートの質問項目、分析方法などを受託者と協議し、改善していく必要がある。
	組織、予算等	つくば駅前観光案内所と関係する事業者との業務分担について整理し、調整していく必要がある。
改善目標	ボランティアガイド育成事業について、アンケートに基づく分析により適宜事業方針を検討する。また、つくば駅前観光案内所運営について、関係機関と業務分担について整理し、適宜運営方法の改善を図る。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	506 観光客動態調査事業					
予算科目	01-070103-15 観光客動態調査に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	観光施策の適正な実施及び推進に必要な基礎資料を得る。
概要 (取組内容)	つくば市内の代表的で見学可能な研究施設等及び筑波山・宝篋山への入込客数を調査し、県に報告する。 通年調査の他、ゴールデンウィークや初詣も入込客数調査を実施及び報告をしている。 筑波山・宝篋山の入込客数調査はシルバー人材センターへ委託し、その他については各施設から報告を受け、県に報告する。 まつりつくばや梅まつり等のイベントの来場者数も報告をしている。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	328	340	340	265	265	
	決算額	(千円)	187	194	194	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	66	70	64	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	121	124	130	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,362	691	723	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	観光客（筑波山・宝篋山観光客）入込数調査日数（日）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	8.0
	実績	11.0	12.0	10.0	8.0	8.0	8.0
指標の概要	筑波山の交通量調査と宝篋山での駐車台数及び通行人数調査日数						

2	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
	実績	425.0	272.0	243.0	274.7	393.7	384.9
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく観光入込客をカウントした値 1月から12月までの年集計					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	入込客数調査以外にもSNS発信（広告）の実施及び分析、YouTube広告の実施及び分析等での観光客の趣向調査を行った。	
成果	つくば市内の代表的な研究施設（見学受入施設）等からの情報収集及び筑波山・宝篋山での調査を行ったことで、つくば市の入込客数を把握することができた。※筑波山・宝篋山は交通量調査から入込客数を推計し、その他については各施設から報告を受けた数値を県に報告した。	
課題	業務	本事業で集計したデータ以外にも、多角的な分析を行っていく必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	本事業や広告配信分析等を活用しながら、市内の観光動向を分析していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	491 まつりつくば事業						担当部課	経済部観光推進課
予算科目	01-070103-13 観光行事に要する経費						係名	観光イベント推進係
市長公約							新規・継続	継続
戦略プラン	I-2	2	1	観光イベントの開催			事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	補助金（直接）
							事業期間	毎年度
個別計画	第3次つくば市観光基本計画						SDGs	15陸の豊かさを守ろう
根拠法令等								

事業の概要

対象	市民
目的	市民が参加できるイベントの開催により、地域交流及び世代間交流の促進を図るとともに、つくば市の魅力を広く発信することで、地域経済の活性化を図る。
概要 (取組内容)	観光の振興と中心市街地の活性化を目的に、つくばならではの多様な文化をいかした魅力あるコンテンツを提供することで、まつりつくばに関わる誰もが楽しめる観光誘客イベントを開催する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	30,800	30,800	45,000	48,270	48,270	
	決算額	(千円)	12,195	28,831	39,411	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	12,195	28,831	39,411	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	15,039	24,613	24,286	23,145	23,145	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		正職員時間外勤務	(時間)	580.00	1,605.00	1,050.00	1,000.00	1,000.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSによる情報発信、チラシの配布
企画・立案、計画	イベントの参加団体を募集
実行	
評価、検証	

指標の推移

指標名	来場者数 (人)						成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1 目標値	470,000.0	450,000.0	450,000.0	450,000.0	450,000.0	450,000.0	
実績	470,000.0	0.0	0.0	0.0	480,000.0	480,000.0	
指標の概要	主催者発表（令和2、4年度は中止、3年度はオンライン等での開催のため来場者数の発表はなし）						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	傷病者に対して迅速に対応できるよう、土浦学園線以南に救護所を1か所増設した。また、無線通信環境の悪化時への対応として、予備の無線（簡易無線、デュアルSIM無線）を配備した。				
成果	つくば駅周辺を会場として8月24日、25日に開催した。イベントとして、ねぶた・神輿等の大パレード、飲食出店のまんぷく広場、アートタウンなど11のイベントを実施し、2日間で48万人が来場した。また、大会本部会議を3回、実行委員会を2回開催し、多面的に意見を聴取し開催準備にあたった。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>関係者駐車場の確保、会場内のごみ投棄、協賛収入状況の改善が課題である。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務	関係者駐車場の確保、会場内のごみ投棄、協賛収入状況の改善が課題である。	組織、予算等	
業務	関係者駐車場の確保、会場内のごみ投棄、協賛収入状況の改善が課題である。				
組織、予算等					
改善目標	民間施設借用を含む関係者駐車場の確保、来場者への啓発を含めた抜本的なごみ問題対策、特典の見直しによる協賛収入の増加について検討と実施を行う。				

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	493 つくばフェスティバル事業					
予算科目	01-070103-13 観光行事に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光イベント推進係	
戦略プラン	I-2	2	1	観光イベントの開催	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（直接）
個別計画	第3次つくば市観光基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	15陸の豊かさを守ろう

事業の概要

対象	市民
目的	つくば市の多種多様な魅力を市内外へ発信し、新生活がスタートした新緑の季節を彩る晴れやかなイベントとして、多くの来訪者に愛されるイベントを開催する。
概要 (取組内容)	つくばセンター広場と大清水公園を会場として、飲食出店やステージパフォーマンス、消防フェアやフォレストアドベンチャー、市内学園の科学部による工作教室などの体験イベントを開催する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	4,500	4,500	7,000	7,000	7,000	
	決算額	(千円)	4,129	4,311	6,292	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,129	4,311	6,292	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,016	7,385	7,463	7,065	7,065	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	0.90	0.90	0.90	0.90
		正職員時間外勤務	(時間)	232.00	482.00	386.00	350.00	350.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	つくばフェスティバルへの来場者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	140,000.0	150,000.0	150,000.0	150,000.0	150,000.0	150,000.0
	実績	150,000.0	0.0	0.0	0.0	90,000.0	130,000.0
指標の概要	主催者発表（令和2年度は中止、令和3年度及び令和4年度は代替イベント開催のため実績なし）						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	メインテーマである「科学と国際交流」に沿った新規イベントの企画・実施を行った。	
成果	つくばセンター広場及び大清水公園を会場として5月11日、12日に開催し、2日間で13万人が来場した。新たな企画として、つくば科学教育マイスターや東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCASTによるステージショーや体験コーナー、C+walkやドローンの操縦体験など、つくばの特色である科学を身近に感じることができるイベントを実施した。	
課題	業務	定員が少ない、回転率が悪いなど、実施イベントの定員又は回転率が要因となり、来場者の参加に制限が生じた。
	組織、予算等	
改善目標	実施イベントの定員及び回転率について、実施会場と併せて見直しを行うことで、より多くの来場者がイベントに参加できる機会を提供する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	487 筑波山観光施設整備事業（旧：筑波山梅林及びその周辺整備事業）					
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約	128	130		係名	観光施設係	
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（間接）
個別計画	筑波山梅林及び周辺整備計画 等			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	筑波山の観光資源を最大限に有効活用し、年間を通じて誘客を行うことで、周辺観光産業の活性化を図る。
概要 (取組内容)	筑波山周辺地域の周遊促進及び訪日外国人の満足度向上を図るため、一部に補助金を活用し、関連施設の整備を行う。 令和6年度の主なものとして、筑波ふれあいの里キャンプ場の施設改修工事、筑波山展望デッキ整備工事などを行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	26,309	177,706	147,942	26,442	113,200	
	決算額	(千円)	24,827	107,367	118,181	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	20,956	38,794	24,048	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	3,871	68,573	94,133	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,314	9,134	8,061	7,407	9,134	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.25	1.00	1.00	1.25
		正職員時間外勤務	(時間)	206.00	206.00	336.00	206.00	206.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ等での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	筑波山観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0
実績	250.0	228.0	186.8	184.0	207.2	217.2	
指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、筑波山観光入込客をカウントした値（年集計）						

2	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（普通車）（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	86,600.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0
	実績	76,166.0	68,491.0	70,627.0	77,441.0	74,359.0	79,644.0
	指標の概要						
3	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（大型車）（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0
	実績	938.0	622.0	847.0	893.0	790.0	741.0
	指標の概要						
4	指標名	（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	筑波山観光の魅力向上を図るため、筑波ふれあいの里キャンプ場のサンタリー棟改修工事を実施した。また令和5年度に解体した市営筑波山第2駐車場公衆トイレ跡地に、新たな観光地となる展望デッキを整備した。	
成果	筑波山の新たな観光地となる施設を整備し、魅力度の向上につながった。	
課題	業務	筑波山観光の魅力向上をさせるため、来訪者のニーズに合わせた既存施設の改良や設備等の整備が必要である。
	組織、予算等	専門的工事を担当課で実施するため、専門技術や知識を持った職員の配置が必要である。
改善目標	利用者のニーズを把握し、観光施設の整備やサービスの提供を行うことで、筑波山観光の魅力向上につなげる。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	492 森林体験パーク施設管理事業					
予算科目	01-070103-12 観光施設維持管理に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光施設係	
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	新規
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	市有地の保全を図りながら、新たな観光の活性化に繋げる。
概要 (取組内容)	筑波山の自然をテーマに森林を活用した自然共生型アウトドアパークとして、魅力ある通年型観光施設を提供する。 また、快適で安全な施設利用を提供するため、装具の更新やコース内の安全管理、樹木医による立木の調査により適正な維持管理を行う。 ※PR：ホームページやチラシの配布での情報発信、つくば市民の日キャンペーンや梅まつりでのイベント共催

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	5,283	4,866	3,609	42,496	4,048	
	決算額	(千円)	3,124	3,275	1,920	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	-6,782	-5,436	-6,806	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	9,906	8,711	8,726	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,405	3,454	3,613	3,454	3,454	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ等での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	施設利用者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0
	実績	0.0	10,337.0	13,999.0	14,359.0	12,585.0	11,874.0
	指標の概要	(個別施策 I-2-②豊かな資源をいかした観光の推進) ※令和2年度より報告開始					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくば市民の日に合わせた割引や梅まつり開催に合わせた手軽なジップライン体験などのサービスを提供することで、認知度の向上及び新規客の獲得を図った。また施設を継続的に運営できるよう、樹木医による樹木診断及びスタッフの研修を実施した。				
成果	森林体験パーク内でのナラ枯れ等もあり、施設の安全確保のため、施設職員に向けた研修を実施した。施設の根幹となる樹木や森林の知識を身に着けたことで、施設の適切な維持管理につながり、利用者の安全性や満足度が向上した。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>森林体験パーク内でのナラ枯れ等による一部コースの閉鎖などの影響もあり、施設利用者が減少傾向にある。コースに利用している限られた樹木を維持していくため、樹木医による調査や病害等の予防措置、コースの改修や修繕を行い、施設の長寿命化を図る必要がある。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務	森林体験パーク内でのナラ枯れ等による一部コースの閉鎖などの影響もあり、施設利用者が減少傾向にある。コースに利用している限られた樹木を維持していくため、樹木医による調査や病害等の予防措置、コースの改修や修繕を行い、施設の長寿命化を図る必要がある。	組織、予算等	
業務	森林体験パーク内でのナラ枯れ等による一部コースの閉鎖などの影響もあり、施設利用者が減少傾向にある。コースに利用している限られた樹木を維持していくため、樹木医による調査や病害等の予防措置、コースの改修や修繕を行い、施設の長寿命化を図る必要がある。				
組織、予算等					
改善目標	現在閉鎖しているコース等をリニューアルし、新たな魅力を創出することで、新規利用者やリピーターの獲得を図る。				

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	観光施設維持管理における貴重な収入源であり、筑波山観光における登山以外の重要な観光資源を維持していく必要があることから、施設の長寿命化を見据えた改修を実施する。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	500 周遊観光促進事業（旧：フットパス事業）					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費				担当部課	経済部観光推進課
市長公約	90-1	93-3			係名	観光振興係
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	第3次つくば市観光基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	15陸の豊かさを守ろう

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	地域の観光資源のブラッシュアップ及びGWや紅葉期等に筑波山へ集中する観光客の分散化を図るため、市内に点在する観光資源の紹介及び観光資源の新規創出をすることで周遊観光を促進する。
概要 (取組内容)	市内観光資源の発掘と磨き上げをし、観光資源を結び付けた周遊ルートをPRすることで、市民や市外からの来訪者の周遊観光促進を図る。また、徒歩散策用のフットパスマップのPR及び目印となる道標の維持管理を行う。 牛久沼周辺の自然環境を生かしたイベント等を検討、企画、実施し、持続可能な周遊観光を推進する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	5,667	3,256	5,300	6,988	6,988	
	決算額	(千円)	5,613	2,850	4,860	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,313	2,850	4,860	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	300	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,957	4,182	3,264	6,459	5,769	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	0.50	0.40	0.90	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	60.00	300.00	150.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	フットパスマップを作成し、市公式ホームページへの掲載及び市内各所に配架することでの情報発信。
企画・立案、計画	市内周遊観光モデルコースの素案検証のためのモニターツアー実施。
実行	市民公募で参加者を募り、牛久沼カヌー体験会の実施。
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	フットパスマップ増刷部数 (部)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	20,000.0
	実績	3,000.0	8,000.0	8,000.0	31,000.0	32,000.0	31,000.0
	指標の概要	配布及び補充用にフットパスマップを増刷した部数					

2	指標名	電子スタンプラリー参加者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	1,000.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	967.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	電子スタンプラリーに参加した人数。R5年度以降は、事業方針変更により「3周遊コース数」を指標とする。					
3	指標名	周遊コース数 (コース)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	11.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	11.0
	指標の概要	R5年度以降は、これまで電子スタンプラリーで得たデータを基に、観光資源を結ぶ周遊ルート造成とPRを実施する事業方針となったため目標値を周遊コース数に修正。					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	事業者の意向を丁寧に調査しながら、市内周遊観光モデルコースを6コース完成させ、特設ホームページ、リーフレット、ポスターを作成した。	
成果	市内周遊観光モデルコースを完成に伴い、広報物を作成し、3月に本公開することができた。また、フットパス事業は、全道標の点検を行った。牛久沼を活用した事業については、茎崎こもれび六斗の森キャンプ場を拠点としたカヌー体験会を昨年より回数を増やし2回開催し、両回とも定員を大幅に上回る市民からの応募があり、需要の高さを確認できた。	
課題	業務	牛久沼の自然環境を活用し、継続的に茎崎エリアの賑わいを創出する事業を推進していく必要がある。
	組織、予算等	牛久沼利活用について、民間事業者も含め、持続的に誘客コンテンツやイベント等を実施できる体制を検討する。
改善目標	牛久沼を活用した体験型観光について、カヌー体験会を実施しながら、来年度以降の事業方針を検討する。また、市内周遊観光モデルコースについては、引き続き積極的なPRを実施していく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	505 サイエンスツアー事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費				担当部課	経済部観光推進課
市長公約					係名	観光振興係
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（間接）
個別計画	第3次つくば市観光基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	つくばサイエンスツアー推進事業に係る協定				SDGs	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	研究機関の集積する筑波研究学園都市の特性を活かし、研究機関等と連携し市内外からの誘客を図る。
概要 (取組内容)	つくばサイエンスツアー実行委員会（事務局：茨城県）から（一財）茨城県科学技術振興財団つくばサイエンスツアーオフィスへ事業委託する。主な事業としては、サイエンスツアーバスを活用したイベントの企画・催行、企業・団体からの見学相談対応、教育旅行の誘致活動等を行い、学校団体を中心に、一般団体や個人をつくばの研究機関等へ誘客する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	
	決算額	(千円)	11,000	11,000	11,000	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	11,000	11,000	11,000	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,362	1,382	1,445	1,382	1,382	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	H Pや広報つくば等での情報発信、科学実験工作教室や夏休みの謎解きイベント等の開催。
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	イベント参加者へのアンケート実施。

指標の推移

指標名	サイエンスツアー利用者数 (人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	15,800.0	15,800.0	15,800.0	15,800.0	15,800.0	16,500.0
実績	11,976.0	2,150.0	4,625.0	15,668.0	17,111.0	15,763.0
指標の概要	(個別施策 I-2-②豊かな資源をいかした観光の振興) つくばサイエンスツアーオフィスを通じてサイエンスツアーに参加した人数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和6年4月からのサイエンスツアーバスの大幅減便を受け、イベントの建付けをバス利用者だけでなく、自家用車利用者にも広げて実施した。	
成果	夏休みの謎解きイベントを実施し、例年通り好評を得ただけでなく、12月から3月にかけて「サイエンスカフェ」を定期開催したり、現地集合式の研究所ガイドツアーを実施したりと、サイエンスツアーバスに依存しない企画を創出し実施できた。また、ツアー相談では、昨年を引き続き多くの海外団体からの相談を受け入れし、国際的なPRに寄与した。	
課題	業務	引き続き、現状のバス運行に即した企画運営の検討が必要である。
	組織、予算等	茨城県科学技術振興課と連携し、サイエンスツアーオフィスの持続可能な経営方針を検討する必要がある。
改善目標	適宜事業をスクラップ&ビルドしながら、効果的なPR方法を検討していく。 イベント広報について、積極的に支援していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	040 筑波山観光用水湯水対策事業（旧：筑波山観光用水安定供給事業）					
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約	131			係名	観光施設係	
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	筑波山頂の水量不足を解消し、観光用水の安定供給を図る。
概要 (取組内容)	筑波山観光用水である筑波山頂水道の水源の湧水量をモニタリングし、湯水状況を継続的に調査する。また、緊急対策として、老朽化し漏水が発生した管路の更新を検討していく。 令和6年度は、女体山頂から御幸ヶ原までの用水管改修工事を行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	423	20,423	143,097	115,763	462	
	決算額	(千円)	344	15,337	100,466	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	344	9,433	25,466	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	5,904	75,000	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,703	5,180	7,706	6,907	3,454	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.25	0.75	1.00	1.00	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	193.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	関係者への湧水量の情報提供
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	湧水量の調査を定期的実施したほか、渇水期等における関係機関との対策会議を開催することで、安定的な上水の供給を行った。また漏水が確認されていた女体山頂から御幸ヶ原までの用水管改修工事を実施した。	
成果	関係機関と連携し、渇水期における施設への影響を最小限に留めることができた。また、女体山頂から御幸ヶ原までの用水管改修工事により当該部分の漏水が解消され、上水の安定供給につながった。	
課題	業務	筑波山山頂にある施設は自然湧水を利用しているため、渇水や凍結等の施設トラブルに対する迅速な対応や経過観察を継続して行う必要がある。
	組織、予算等	専門的工事を担当課で実施するため、専門技術や知識を持った職員の配置が必要である。
改善目標	老朽化し破損している給水施設の改修及び湧水量の状況把握を継続して実施し、渇水期対策を検討する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	湧水量が安定しない自然湧水を活用していることから、引き続きモニタリングを実施し、限られた資源の有効活用の方法を検討する必要がある。	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	038 観光PRの実施					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン	I-2	2	3	観光PRの実施	新規・継続	新規
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	第3次つくば市観光基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	つくば市への観光誘客を図り、観光需要の拡大に寄与する。
概要 (取組内容)	拡散力のあるSNS（X、Instagram等）を活用して、ターゲットを意識した情報発信を行う。 つくば市HPおよびつくスマアプリでの情報発信を行う。 まつりつくば、つくばフェスティバル、梅まつりなどのイベント等においてつくば市の観光PRを実施する。 観光PR動画や観光スポットの写真などをマスメディア等に提供し市内外に広くPRを実施する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	2,490	2,152	4,103	1,567	1,567	
	決算額	(千円)	1,658	1,449	3,137	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,658	1,449	3,137	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,957	5,563	6,154	5,320	5,320	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	0.70	0.80	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	60.00	300.00	150.00	200.00	200.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	SNSやつくスマアプリ、市広報紙を活用した市民向けイベント告知
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	観光大使派遣イベント回数 (日)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績	12.0	0.0	3.0	2.0	16.0	20.0
指標の概要	観光大使を派遣しつくば市の観光PRを実施したイベント日数。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で派遣なし。						

2	指標名	インバウンド向けウェブサイトアクセス数 (PV)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6,500.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0	10,000.0	10,000.0
	実績	6,314.0	3,596.0	3,954.0	20,303.0	53,557.0	104,900.0
	指標の概要	Web上の訪日観光メディアMATCHAページのアクセス数					
3	指標名	SNSによるPRの「いいね」数 (X (旧Twitter) ・ Instagram) (件)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	5,000.0	5,500.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	5,303.0	4,362.0
	指標の概要	観光推進課公式アカウントによるX (旧Twitter) ポストへの「いいね」数とInstagram投稿への「いいね」数の積算 (令和5年度より新設)					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	茨城デスティネーションキャンペーン終了後も、茨城ロボッツや鹿島アントラーズのつくば市PRイベント、県主催のシンいばらきメシ総選挙などで、つくば観光コンベンション協会と連携し、積極的に観光PRや物販を行った。	
成果	SNSで戦略的な情報発信を行い、フォロワー数を、Xは前年比8%、Instagramは前年比23%増加させることができた。また、イベントのPR方法として、新規でイオンモールへの大型バナー広告、シネアド、YouTube広告、スマホアプリ広告などを実施し、方法ごとに反響を測ることができた。さらに、観光PR用に提供できる写真をギャラリー方式で市HPに公開し、メディア等に拡散しやすい環境を整えた。	
課題	業務	より効果的な広告手法を研究する必要がある。
	組織、予算等	つくば観光コンベンション協会と適宜役割分担してPRを進める。
改善目標	梅まつり等の大型イベント、牛久沼事業や周遊観光事業など、イベントや事業をターゲット別に戦略的な方法でPRを実施していく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—